

**特集****金環日食調査ワーキンググループ**

金環日食調査 WG 代表 飯塚礼子（日食情報センター）

**1. はじめに**

天文教育普及研究会の冊子『天文教育』5月の中に事務局からのお知らせにて、臨時運営委員会が開催され、金環日食調査ワーキンググループ（WG）が設立されたことのご報告が掲載されました。2012年5月21日金環日食間際の4月初め活動を開始しました。今から思えば、もっと前から（1年ぐらい前）準備していれば余裕をもって準備ができたかもしれませんが、金環日食調査をしてみようと思ったのが、日食直前だったため、非常に忙しい思いで皆さんスタートしました。

**2. 目的**

2012年5月21日の金環日食は、部分食も含めると日本各地で観測できることから、天文普及に関わっている様々な団体、学校・自治体等、どのようにこの日食をとらえ、またどのような結果につながったのかを、記録に残し検証する目的で本WGをたちあげました。

**3. 活動内容**

WG設立趣意書の記載は、かなり漠然とした内容だったために、何をしているのか明確な内容を示せず、ご心配をおかけしました。

実際に行った活動、現在進行中のものは、

**(1) イベント調査**

都道府県別に金環日食へ向けての研修会・勉強会・講演のイベントと金環日食当日の観測・観察イベント情報を本会のwebよりお寄せいただいた情報と、独自で調べた情報をWebに掲載しました。

**(2) 学校調査**

学校における日食に向けた取り組み状況を

集約し、Webで公開するとともに学校関係者等による日食観察に関する情報収集の場としました。この内容は文部科学省で実施された記者発表にて公開し、各新聞に金環日食前の現状として掲載されました。

**(3) 都道府県へのアンケート調査**

各都道府県にお問合せという形で、行政から各学校の通達や取り組みがなされているのかどうか調査しました。

**(4) 一般の方々への調査**

日食学習連絡会との連携で、日食に関心を持った方々からのWebアンケートを今も実施しています。幼児から80歳代までの方から回答いただいています。

**(5) ツイッター調査**

ツイッターを使った調査を行いました。

**(6) 社会教育分野委員との連携調査**

ある地域を絞り込み、金環日食当日どのような行動されたかを調査中です。

以上、まだまだ未解析のものが多いですが、徐々に結果発表を行っていきます。尚、「学校調査」については、本誌にて報告をいたしますので、ご覧ください。

今後は、調査の解析、まとめを行ないます。また、日食に限らず他の天文現象や観測のさいに何ができるかを検討したいと考えています。